

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立浦添工業高等学校
校長 知念 俊一郎
(公印省略)

令和6年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和6年12月11日付け教県第1582号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	7月16日(火)	場所	本校小会議室	出席状況	学校評議員4名 校長・教頭・事務長・各部主任・各学科長
第2回	日時	12月20日(金)	場所	本校小会議室	出席状況	学校評議員4名 校長・教頭・事務長・各部主任・各学科長
第3回	日時	3月19日(水)	場所	本校大会議室	出席状況	学校評議員4名 校長・教頭・事務長・各部主任・各学科長

2 学校評議員に求めた事項

- ① 学校経営方針への理解と協力。
- ② 学籍・出席状況・成績状況の把握と問題点等についての助言。
- ③ 進路決定状況の把握及び進路指導(年間計画・取り組み内容等)状況に対する助言。
- ④ 生徒指導(問題行動状況・勤怠指導状況等)状況に対する助言。
- ⑤ 学校行事や学校課題に対する取り組みの助言や協力。
- ⑥ 地域に開かれた学校づくりについての助言と協力。

3 学校評議員の意見

・資料や説明については、たいへんわかりやすいものになっていた。生徒の活躍も素晴らしかったが、それを支える先生方の頑張りが素晴らしい。デザイン科の「地域貢献プロジェクト」については、労力が必要だが、頑張った分かならず大きな成果が得られるように思う。スクリレ、学校ホームページなど、去年の何倍も学校の様子を発信しているのは、とても良い取り組みだと思います。

・今学期も浦添工業高校の生徒たちが、学校周辺の清掃ボランティアを行っているので、地域の方々も大変感謝している。清掃ボランティアで家の近くに来た時には声をかけているが、よく気遣いができる生徒たちでした。今学期の取り組みについて説明を受けたが、学校生活が充実していると感じた。避難経路が気になっていたが、仮設橋が設置されたのは良かった。

・これから夏休みに入り、深夜徘徊等の問題行動が懸念される。浦添市とも連携して未然防止に取り組んで欲しい。授業内容については、以前の工業高校のイメージとは違う時代のニーズに合ったものになっている。

・いろいろな取り組みがあり、生徒たちが頑張っていると思いました。実践経験が大事だと思うので、各業界との連携を充実させて欲しい。大名嘉組では他の工業高校とデュアルシステムで連携しているが、将来浦添工業高校も導入を検討してはどうか。

・薬物事案がたびたびニュースになっている。地域の小中学校では水たばこ(シーシャ)を吸っている生徒がいたらしく、近所の話題になっている。「校則が現状に追いつかなくて指導が困難」と聞いているが、浦添工業高校ではどのような対応を行っているか。

4 学校運営に反映した事項

・「地域貢献プロジェクト」以外にも、情報技術科による出前講座、インテリア科によるモノレール駅ベンチ制作、神森小学校ビオトープ内ベンチ制作、経塚自治会での食品販売など、外部関係機関との連携によりさまざまな取り組みが行われた。また、調理科の生徒が作った商品のラベルをデザイン科の生徒が制作したり、デザイン科とインテリア科の生徒が事業所のサインを共同制作するなど、学科の枠を超えた取り組みもあった。

・雨の影響で中止になった月もあったが、毎月の地域清掃活動は回を追う毎に参加者が増え、清掃ボランティアが定着してきた。

・薬物については、職員も危機感を持っており、ゲートウェイドラッグと言われている喫煙の防止を強化する必要がある。生徒指導方針を見直し、厳罰化を含めた指導を検討する。

5 課題その他

・特になし